

## 市民の願い、実現に全力



市長に予算要望書を手渡し懇談する日本共産党吹田市議員団（8月28日）

### 柿原議員が筆頭紹介議員に

## 『（仮称）吹田市佐竹台計画に関する請願』全会一致で採択

佐竹台4丁目に建設が計画されている共同住宅について事業者による住民説明会が行われた。当該地は吹田市が定めた「千里ニュータウンのまちづくり指針」により、容積率が150%とされている「第一種中高層住居専用地域」にもかかわらず、計画では容積率199.5%となり、今後のまちづくりに悪しき先例となる。当該事業に対し、指針に基づき容積率150%を遵守するよう、吹田市より事業者に対し厳正な指導を要請する。

### 全会一致で採択

大阪府が実施する万博記念公園駅前周辺地区活性化事業について一体的な計画に基づく環境影響評価の実施等を求める決議

- ① 当該事業の一体的な計画を早期に示した上で環境影響評価の手続きをとるよう事業者や大阪府と協議の場を持ち働きかけること
- ② 事業者や大阪府が地域住民への説明責任を十分果たされるよう市として努めること

## 2025年9月 定例会

市議会9月定例会が、9月3日から10月1日までの会期で行われました。総額1億350万円の補正予算が提案され、一部修正のうえ可決しました。市民から提出された『（仮称）吹田市佐竹台計画に関する請願』は、全会一致で採択されました。日本共産党は、定例会に先立つ8月25日に団体懇談会を開催し29団体が参加。同28日に後藤市長に『2026年度吹田市予算編成と施策に対する要望書』を手交し懇談しました。主な定例会の内容と結果、日本共産党の質問について紹介します。



団体懇談会（8月25日）

## 9月定例会の質問から

代表質問は玉井美樹子議員が行いました

質問動画はこちら



### 居場所づくり

## 不登校のこどもたちの居場所の拡充を

**質問** 南千里駅前の教育センターに教育支援教室があるが、こどもたちにとって選択肢を増やすために、さらにより通いやすい場所に教育支援教室をつくり、不登校特例校の設置など多様な学びの場の設置が必要ではないか。

**答弁** （教育監）本年度より児童会館・児童センターと連携し、外出を目標とする児童、生徒がいつでも利用できる居場所づくりを進め、教育支援教室のスタッフが訪問し多様な学びの場として取組の充実を図っている。市内公共施設と連携し、市内全域での多様な居場所づくりに努めていく。



### ファミリーシップ制度

## パートナーシップ制度の啓発の強化とファミリーシップ制度への拡充を

**質問** パートナーシップ宣誓制度がスタートし2年。他の自治体では民間の団体と自治体が協力をし「わたしたちだっといういふうふになりたい展」がある。アピールには非常に分かりやすい。このような取組を積極的に行うよう求める。また、多様な家族の在り方を尊重するため、パートナーシップ宣誓証明を受けた二人と、その子や親などを家族として公的に証明するファミリーシップ制度へつなげてはどうか。

**答弁** （市民部長）ファミリーシップ制度の導入に向け、国や他の自治体の動向を注視している。関係する方から意見を聞き検討する。提案の展示も前向きに対応を進める。

質問動画はこちら



### 答弁

（土木部長）通常利用のスペースが狭くなることは事実。プールの水質調査は不要と判断。指摘があり安全対策を指示した。小学生や近隣住民へのアンケートを検討する。

### 質問

夏休みの1か月間、広場でイベントが行われ、屋台と大型プールが営業し占有。長期にわたる通常の利用ができず、市民の憩いと自由に遊べる公園とは言えない。プールの水質・安全管理に問題。民間事業者による管理運営が丸3年となり、市民の意見を聞き検証が必要。

### 江坂公園

## パーク・PFIによる課題



質問動画はこちら



### ニュータウン

## まちの魅力である良好な住環境を守れ

**質問** 佐竹台に地上10階容積率199.5%のシニア向け分譲マンションを建設する計画がある。これまで、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に適合しなかった事業は、約160件のうち1件だけだった。ゆとりある住環境を守り、魅力あるまちとしての発展についての市の所見を問う。

**答弁** （都市計画部長）「指針」は、住民、事業者、行政が共につくり上げたルールであり、協同で取り組んできた結果、良好な住環境が保全されてきた。大規模地権者や事業者への働きかけを行い、ニュータウンにふさわしい良好な住環境の保全に努める。



### 子ども食堂

## 朝ごはんの提供など、子ども食堂への支援拡充を

**質問** 子ども食堂の開設補助や運営費補助は、物価高騰に合わせ増額すべき。朝ごはんの提供は、学びや心身の成長に好循環をもたらす取組であり、全ての小・中学校に広げていくことが必要ではないか。

**答弁** （児童部長）補助制度は、活動の継続性を高める補完的な支援であり、その範囲において取り組んでいた。朝ごはんの提供については、有意義な取組であると考えている。どのような支援が可能であるか教育委員会をはじめ関係部局とも相談していく。

質問動画はこちら



### 日本共産党吹田市議会議員団

益田 洋平

村口 久美子

山根 建人

玉井 美樹子

柿原 真生

塩見 みゆき

竹村 博之

